

全農全国本部OB会 第51回通常総会

日時：2022年4月18日（月）13時30分

場所：JAビル32階 全農3209会議室

次 第

1. 開 会
2. 開会挨拶
3. 議長選出
4. 議事録署名人選出
5. 議 事
 - 第1号議案 第50期(2021年度)事業報告について
 - 第2号議案 第50期(2021年度)決算・監査報告について
 - 第3号議案 全農全国本部OB会第2弾改革について
 - 第4号議案 規約の改定について
 - 第5号議案 基金の一部取り崩しについて
 - 第6号議案 第51期(2022年度)事業計画について
 - 第7号議案 任期満了に伴う役員改選について
6. 議長解任
7. 閉 会

**書面議決権行使による新型コロナウイルス感染拡大防止
へのご協力をお願い申し上げます。**

【第1号議案】

第50期(2021年度)事業報告

(2021年3月1日～2022年2月28日)

1. 会員の状況

2021年3月	1,816名	(支部管内別)	2022年2月	2021年3月	(増減)
入会	27名	札幌	26名	27名	-1名
退会	43名	東京	1,311名	1,321名	-10名
(内 物故者)	(42名)	名古屋	82名	84名	-2名
2022年2月末	1,800名	大阪	169名	172名	-3名
		福岡	212名	212名	0名
		(合計)	1,800名	1,816名	-16名

2. 賀寿を迎えた方

白 寿	1名
米 寿	15名
喜 寿	65名
計	81名

(注) 賀寿・物故者の氏名は別紙①参照

3. 第50回通常総会

日時：2021年4月13日(火) 13時30分～

場所：JAビル32階 全農3210会議室 議決権行使数：770名(実出席13名)

2020年度決算、規約の改定等含め、議案は提案どおり可決された。

4. 本部の活動状況

(1) 役員会： 第1回 3月11日(木) 第4回 10月25日(月)
 第2回 4月13日(火) 第5回 2月8日(火)
 第3回 9月27日(月)

(2) OB会通信発刊等：①第223号(9月1日) 同時にホームページにも新規掲載
 ②規約・規則等をホームページに掲載(9月1日)
 ③第224号(1月1日)

5. 支部の活動状況

総会：各支部とも総会は書面によって開催しました。

札幌：議案は提案どおり可決
 東京：議案は提案どおり可決
 名古屋：議案は提案どおり可決
 大阪：議案は提案どおり可決
 福岡：議案は提案どおり可決

各支部では、懇親会や旅行などは中止となりましたが、一部支部ではコロナ禍の合間にゴルフ等のクラブ活動が行われました。

以上

賀寿を迎えた方 81名

〔白寿：1名〕（大正11年3月から大正12年2月生まれの方）

平野 宗之助 08月

〔米寿：15名〕（昭和8年3月から昭和9年2月生まれの方）

中澤 邦春 03月	館野 清 03月	今井 直次 03月	宇津木 良久 04月
鈴木 幸一 04月	諸星 栄三 08月	平野 伸吾 09月	藪野 壯三郎 10月
千澤 和文 10月	浅岡 いつ子 10月	本多 文雄 10月	石野 治久 01月
堂前 信也 02月	篠原 昭彦 02月	佐藤 滋 02月	

〔喜寿：65名〕（昭和19年3月から昭和20年2月生まれの方）

伊集院 輝雄 03月	内田 信二郎 03月	桃谷 孝昭 03月	須田 政宏 03月
古野 雄介 03月	杉山 政行 03月	飯塚 頼雄 03月	峰松 武史 03月
森口 武俊 04月	漆原 哲男 05月	菊地 清人 05月	蓮見 昭夫 05月
佐藤 競 05月	鈴木 久勝 06月	工藤 驍 06月	長谷川 勝 07月
境 治子 07月	渡辺 武夫 07月	田原 弘 07月	小原 實 07月
恵木 亜紀雄 07月	坂口 親雅 08月	岡本 英誠 08月	南蘭 勉 08月
甲斐 孝太郎 08月	瀬尾 洋一 08月	吉原 暉久男 08月	谷 正 08月
増田 清治 08月	中田 亨 09月	岡部 繁勝 09月	阿部 靖 09月
折坂 博道 09月	前田 昌良 09月	加藤 益穂 09月	森崎 鉄兵 09月
青木 博 10月	太田 重男 10月	海老原 哲 10月	小林 啓二 10月
高橋 忠彦 11月	横山 忠 11月	服部 八郎 11月	園部 和彦 11月
萬 靖義 11月	芳賀 本平 11月	渡辺 隆司 12月	荒木 輝二 12月
有田 雄二 12月	谷藤 武光 12月	松田 忠 01月	三村 浩昭 01月
東 哲 01月	大見 康之 01月	新山 雅弘 01月	岡安 功一 01月
原 勝利 01月	鈴木 幹男 01月	松村 健太郎 02月	大塚 圭司 02月
山口 晴昭 02月	藤野 瀛 02月	浅見 昌弘 02月	長與 克弘 02月
藤村 征夫 02月			

物故者 42名

(享年) (命日)	(享年) (命日)	(享年) (命日)
小森 実 97 R02.05.01	箸蔵 俊郎 94 R02.08.24	能瀬 嘉信 80 R02.11.06
櫻木 稔 74 R03.01.28	日比野 進 87 R03.02.25	片岡 俊弘 92 R03.03.03
若崎 勇武 93 R03.03.12	久富 章 78 R03.03.20	青木 駿 90 R03.03.31
上住 建之 75 R03.04.04	吉村 正門 64 R03.04.08	薬丸 薫 85 R03.04.15
山口 弘士 74 R03.04.16	上澤 進 78 R03.05.10	清水 俊夫 81 R03.05.16
布川 卓雄 76 R03.05.26	西沢 勇司 79 R03.05.31	戸塚 清治 83 R03.06.02
上田 純子 64 R03.07.02	金澤 徹夫 74 R03.07.08	中川 徹行 94 R03.07.31
宗 昌子 82 R03.08.06	宮崎 堅太郎 67 R03.08.09	安藤 明 93 R03.08.23
佐藤 功 81 R03.08.24	鏡原 知徳 79 R03.09.05	森 徳吉 86 R03.09.14
山崎 善啓 85 R03.09.20	土肥 忠行 78 R03.09.23	工藤 幸也 92 R03.09.29
水野 龍太郎 65 R03.11.02	榊原 和彦 80 R03.11.11	秋田 俊毅 69 R03.12.02
鈴木 照久 84 R03.12.12	平川 恭子 96 R03.12.18	八木 衆司 97 R03.12.26
執行 文昭 80 R03.12.28	盛 笑子 88 R03.12.29	館野 清 88 R04.01.18
高橋 英俊 71 R04.01.18	新山 雅弘 77 R04.02.01	安田 義和 83 R04.02.19

【第2号議案】

第50期(2021年度)決算書

(2021年3月1日～2022年2月28日)

(1) 基金

(単位:円)

科目	区分	予 算	実 績
前期繰越額		140,000,000	140,000,000
当期繰入		0	0
(-) 当期取崩		0	0
次期繰越額		140,000,000	140,000,000

(2) 一般会計

(単位:円)

科目	区分	予 算	実 績	
前期繰越額 (1) ※		4,570,816	4,570,816	
収 入	終身会費	640,000	540,000	
	受取利息	339,882	340,952	
	広告料	600,000	600,000	
	雑収入	5,500,000	5,505,000	
	基金取崩	0	0	
	当期収入計 (2)	7,079,882	6,985,952	
	収入合計 (3)=(1)+(2)	11,650,698	11,556,768	
支 出	慶弔費	祝金	780,000	740,000
		供花料	500,000	499,000
		小計	1,280,000	1,239,000
	会議費	400,000	101,402	
	支部活動費	1,500,000	1,500,000	
	事務費	2,600,000	2,392,361	
	事務局費	1,900,000	1,861,300	
	家賃・水道光熱費	2,600,000	2,479,773	
	当期支出計 (4)	10,280,000	9,573,836	
次期繰越額 (3)-(4) ※	1,370,698	1,982,932		

(3) 差入保証金

(単位:円)

敷金	1,190,000	1,190,000
----	-----------	-----------

※上記第50期決算書の前期繰越額および次期繰越額は、差入保証金を一般会計と分けて記載したため前年総会議案書の第50期予算書の額とは変更となっています。

詳細は補足説明資料をご参照ください。

差入保証金発生に伴う予算・決算諸表表示の変更について

2020年度においてコーポビル解体に伴う新事務所賃借により差入保証金が生じました。これまでOB会予算・決算書等の経理処理では貸借対照表の資産の部は『基金』と『一般会計』の2区分であったため、第50期(2021年度)通常総会議案書の予算、決算に関する表示では差入保証金を(*参考)表示とし、一般会計の事務費に差入保証金を算入し表示していました。このため一部会員から「差入保証金は一般会計のどの科目に含まれるのか」との疑問・質問が寄せられました。

、差入保証金は一般会計に含まないため、OB会通信223号(2021年9月1日)やホームページで「次年度からは誤解の生じない表示に改めます。」と回答しています。

2021年度からは、これまでの『基金』と『一般会計』の2区分に『差入保証金』の区分を追加し3区分とします。

これに伴い、第50期(2021年度)通常総会議案書の「投資有価証券・預貯金等残高表」「第50期(2021年度)予算書」表示が下記のとおり変更となります。

記

1. 第50期(2021年度)通常総会議案書の「投資有価証券・預貯金等残高表」表示について別紙①のとおり変更しました。
これにより、一般会計の合計欄金額表示(50期への繰越額)は5,760,816円から差入保証金1,190,000円を差し引いた4,570,816円へ変更となりました。
2. 「第50期(2021年度)予算書」表示についても前項1を受け別紙②のとおり一般会計の前期繰越額「予算」金額を5,760,816円から差入保証金1,190,000円を差し引いた4,570,816円へ変更となりました。

以上

第49期投資有価証券・預貯金等残高表新旧対比

1. 投資有価証券・預貯金等残高表の『区分』を2020年度までの「基金」と「一般会計」の2区分に加え、2021年度から新事務所賃借により生じた「差入保証金」を加え3区分とする。変更箇所は太線で表示
2. これに伴い、第49期投資有価証券・預貯金等残高表（2021年2月28日現在）の一般会計の合計金額（次期繰越金）が5,760,816円から差入保証金1,190,000円を差し引いた4,570,816円となる。また、「基金 一般会計合計」欄を「資産合計」に名称を変更する。
 以上の変更により（旧）残高表の金額をそのまま（新）残高表で表示すると下記のとおりとなる。

(旧) 第49期 投資有価証券・預貯金等残高表 (2021年2月28日 現在) (単位:円)

区 分	金融機関等	金額	備考
基金	みずほ証券	110,000,000	利附農林債
	みずほ証券	30,000,000	利付国債
	計	140,000,000	
一般会計	みずほ銀行	3,090,656	
	ゆうちょ銀行	1,480,160	
	(株式会社全農ビジネスサポート) 計	1,190,000	敷金
差入保証金		5,760,816	次期繰越金
基金	みずほ証券	140,000,000	
	みずほ銀行	3,090,656	
	ゆうちょ銀行	1,480,160	
一般会計	(株式会社全農ビジネスサポート) 計	1,190,000	敷金
資産合計		145,760,816	

以上

(新) 第49期 投資有価証券・預貯金等残高表 (2021年2月28日 現在) (単位:円)

区 分	金融機関等	金額	備考
基金	みずほ証券	110,000,000	利附農林債
	みずほ証券	30,000,000	利付国債
	計	140,000,000	
一般会計	みずほ銀行	3,090,656	
	ゆうちょ銀行	1,480,160	
	計	4,570,816	次期繰越金
差入保証金		1,190,000	敷金
資産合計	みずほ証券	140,000,000	
	みずほ銀行	3,090,656	
	ゆうちょ銀行	1,480,160	
(株式会社全農ビジネスサポート) 計		1,190,000	敷金
資産合計		145,760,816	

以上

区分として差入保証金を新設

前年度第50期(2021年度)の予算書新旧対比

別紙②

【第4号議案】(備考欄等の表示を一部省略してあります)

第50期(2021年度)事業計画について

規約に基づき、全農全国本部との連絡を密にしつつ、会員相互の親睦をはかるため、次の事業を行う。
(省略)

(変更前) (第50回通常総会議案書7ページ)

第50期(2021年度)予算書 (2021年3月1日～2022年2月28日)

① 基金 (単位:円)

科目	区分	予算	前年度予算	備考
前期繰越額		140,000,000	140,000,000	農林債・国債・定期預金
当期繰入		0	0	
(-)当期取崩		0	0	
次期繰越額		140,000,000	140,000,000	
② 一般会計				

② 一般会計 (単位:円)

科目	区分	予算	前年度予算	備考
前期繰越額(1)		5,760,816	7,271,722	
終身会費		640,000	640,000	入会者32人想定
受取利息		339,882	342,000	農林債・国債等利子
広告料		600,000	620,000	OB会通信新年号掲載広告、チラシ折込料
雑収入		5,500,000	3,000,000	全農助成金(事務所家賃相当額増額)
基金取崩		0	0	
当期収入計(2)		7,079,882	4,602,000	
収入合計(3)=(1)+(2)		12,840,698	11,873,722	
慶祝金		780,000	1,120,000	賀寿対象者78人
供花料		500,000	500,000	
小計		1,280,000	1,620,000	
会議費		400,000	600,000	総会書面、役員会3回・プロジェクト会6回の交通費美費他
支部活動費		1,500,000	1,500,000	
事務費		2,600,000	2,100,000	通信費・印刷費(OB会通信、総会資料)、ホームページ改善費、電話機器リース料他
事務局費		1,900,000	1,900,000	事務局員昼食・通勤費他
家賃・水道光熱費		2,600,000	0	
当期支出計(4)		10,280,000	7,720,000	
次期繰越額(3)-(4)		2,560,698	4,153,722	

(*参考) 差入保証金 1,190,000円【株式会社全農ビジネサポート、敷金】

(変更後) 第50期(2021年度)予算書 (2021年3月1日～2022年2月28日)

① 基金

科目	区分	予算	前年度予算
前期繰越額		140,000,000	140,000,000
当期繰入		0	0
(-)当期取崩		0	0
次期繰越額		140,000,000	140,000,000
② 一般会計			

② 一般会計

科目	区分	予算	前年度予算
前期繰越額(1)		4,570,816	7,271,722
終身会費		640,000	640,000
受取利息		339,882	342,000
広告料		600,000	620,000
雑収入		5,500,000	3,000,000
基金取崩		0	0
当期収入計(2)		7,079,882	4,602,000
収入合計(3)=(1)+(2)		11,650,698	11,873,722
慶祝金		780,000	1,120,000
供花料		500,000	500,000
小計		1,280,000	1,620,000
会議費		400,000	600,000
支部活動費		1,500,000	1,500,000
事務費		2,600,000	2,100,000
事務局費		1,900,000	1,900,000
家賃・水道光熱費		2,600,000	0
当期支出計(4)		10,280,000	7,720,000
次期繰越額(3)-(4)		1,370,698	4,153,722

③ 差入保証金

敷金	1,190,000	1,190,000
----	-----------	-----------

第50期投資有価証券・預貯金等残高表

(2022年2月28日現在)

(単位:円)

区分	金融機関	前年度末残高	期中変動	期末残高	主な事項
基金	みずほ証券 (国)	30,000,000	-30,000,000	0	①10年、20百万円、2021年9月20日償還、利子1.1% ②10年、10百万円、2021年9月20日償還、利子1%
	みずほ証券 (農)	110,000,000	-10,000,000	100,000,000	③5年、100百万円、償還日2022年6月27日、利子0.08% ④5年、10百万円、2021年5月27日償還、利子0.05%
	みずほ銀行 (定)	0	30,000,000	30,000,000	上記国債①②償還日に一旦全額普通預金に繰り入れた後、利子を除き定期預金に振替
	みずほ銀行 (普)	0	10,000,000	10,000,000	上記農林債④償還日に全額普通預金に振替
	計	140,000,000	0	140,000,000	
一般会計	みずほ銀行 (普)	3,090,656	-1,263,179	1,827,477	全農からの助成金、受取利息、広告料等の受け入れおよび慶弔費、支部活動費等の送金、印刷代、メール便代、電話料等諸経費の支払い
	ゆうちょ銀行 (当)	1,480,160	-1,324,705	155,455	終身会費の受け入れ、口座徴収料、郵便後納代金、慶弔費、諸経費の支払い
	計	4,570,816	-2,587,884	1,982,932	
差入保証金	株式会社全農ビジネスサポート	1,190,000	0	1,190,000	敷金
資産合計	みずほ証券	140,000,000	-40,000,000	100,000,000	
	みずほ銀行	3,090,656	38,736,821	41,827,477	
	ゆうちょ銀行	1,480,160	-1,324,705	155,455	
	株式会社全農ビジネスサポート	1,190,000	0	1,190,000	敷金
	総合計	145,760,816	-2,587,884	143,172,932	

【注】 金融機関の、(国)は国債、(農)は農林債、(普)は普通預金、(当)は郵便振替当座預金

2022年3月7日

全農全国本部OB会
会長 吉永 正信 殿

全農全国本部OB会

監事 渡邊 日出雄



監事 浜田 隆文



監 査 報 告 書

2021年3月1日から2022年2月28日までの第50期決算書および関係書類等を監査した結果、それらは全農全国本部OB会規約に基づき適正に処理され、関係帳票と一致し正確であることを認めます。

以 上

【第3号議案】

全農全国本部OB会第2弾改革について

OB会第1弾の改革を踏まえ、OB会のさらなる活性化と持続的な発展のため、第2弾改革について次のとおり取り組むこととする。

1. 第1弾・第2弾の改革に至る経過

(1) 平成18(2006)年の全国本部OB会財政基盤変更(終身会費2万円制、従前の会員に8万円返還、基金残高が2.94億円から1.6億円の減額)以降の15年間で単年度収支補填として基金を2回20百万円取り崩していること、現状の本部運営は単年度収支赤字が恒常的に3百万円程度発生する構造であること、から2019年度から実施した改革検討は主に収支面の改善という視点からスタートしました。

(2) 2020年4月総会で、改革の第1弾として次の内容を議決しました。

現行の単年度収支赤字幅を縮小していく対策として

- ① OB会通信について、発行コスト抑制の観点から、2021年度より年3回(1、3、9月)発行を年2回(1、9月)発行へ変更
- ② 会員名簿について、個人情報保護の徹底、発行コスト抑制等の観点から、冊子の全会員送付を廃止(名簿が必要な会員には有償で対応する仕組みを新設)
個人情報保護徹底のため「個人情報保護規則」「個人情報データ利用規則」を制定

また、OB会機能として優先する本部・支部活動のあり方、本部事務局のあり方、支出構造の見直し(慶弔費、事務局経費、支部活動助成等々の検証)、収益拡大策等について、本部内にプロジェクトチームをつくり具体策案を検討し、第2弾改革として2021年度総会提案をめざす。(コロナ禍により2022年度総会へ先送り)

【第1弾改革によるコスト削減成果】

- ① OB会通信3月号廃止により印刷費8万円削減(2020年3月号印刷費実績対比)
- ② 会員名簿廃止により印刷費34万円削減(平成30(2018)年度版印刷費実績対比)
- ③ 本部事務局発送業務の軽減

(3) 2021年度本部プロジェクトでの協議を再開するなかで、新たなOB会への結集・活用方策、活動の活性化対策により会員数の増加を目指すこと、支出削減ばかりでなく収益拡大策の検討も重要であることが改めて共通認識として確認され、会員ニーズに合致し利活用されるOB会本部としての改革具体策、収益拡大、会員数増加を含めた収支改善具体策をプロジェクトとして検討してきました。

(4) 収支面の切迫状況、基金の今後の状況(期限到来分の国債・農林債は現状新規募集なし等)などから、本部としては今手を打っておかないと基金は単年度収支補填のための定期的取崩が不可欠となり、そのような状況は将来会員への安定的な運営を保証する責任が果たせないとの問題意識から、今回の一連の改革提案をしています。

なお、HP の改善には、基金財源を使用してシステムバージョンアップの検討をする考えです。

2. 第2弾改革の本旨

(1) 会員ニーズに合致するOB会運営への今日的改革として

- ① HP をリニューアルし情報提供および情報交換の場を充実する
(現状に加え以下の項目を付加)
 - 1) 全農やグループ会社の人事や商品などの情報提供
 - 2) 会員同士の近況報告や情報交換
- ② セミナライフの節目での応援と全農グループと関わる機会の提供に予算を重点化する
 - 1) 賀寿対応の見直し
 - 2) ライフサポートの強化(保険、リフォーム等に加えて)

(2) OB会基金の定期的取崩構造を改善するため

- ① 会員拡大に向けた入会勧誘活動を活発化する
- ② 本部経費(事務費、事務局費等)を可能な限り削減する
- ③ 賀寿と弔事規定を現状の適用状況もふまえて見直す

なお、支部に対する活動助成は現行水準を確保のうえで、公平性の基準を設定する。

3. 具体的改革内容とそのすすめ方

(1) 22年度から実施する改革

ア. 全農の退職予定者に配付する入会用資料をOB会入会のメリットを明確にした内容への見直しと集合・個別の入会勧誘活発化

イ. 全農50周年に対応して、「OB会として50年を振り返る」特集を企画し個人の寄稿を募集(例)仕事上や組合活動上の思い出や自慢、統合前・後の裏話など

ウ. HPの充実・強化とこれにともなうOB会通信の発行の見直し

- ① HPに部門OB会の活動情報(案内および報告)や全農・グループ会社情報(会員が商品やサービスを体験した情報を含む)を提供するページを新設
- ② HPに会員の近況報告、情報交換、全国規模サークル活動などに活用できる掲示板的ページの開設
- ③ HPでは個人情報の掲載機会が増えることに対応したセキュリティの強化(一方で閲覧者の利便性にも配慮)
- ④ スマートフォンで見やすく閲覧できるHP化(QRコード、アプリ、システム追加等々)
- ⑤ 従来の紙媒体のOB会通信は年1回年末発行とし、HPに掲載した1年分の活動報告や情報をまとめて掲載した冊子にし、全農手帳やライフサポートパンフレット等を同封して全会員に送付
- ⑥ 毎年3月の総会議案書送付に年末発行OB会通信を補足する情報を「OB会だより」として同封

*電子媒体可（紙媒体不要）とする会員は、議案書を発送せず HP 閲覧で代替

エ. 長寿祝いと会員等の死亡時対応の見直し

- ① 会員のセンドライの応援のため、70 歳から 5 歳刻みで 85 歳までの長寿プレゼントを新設（消費税・送料等の費用込みで 5 千円程度の全農グループの取扱い商品等を想定）
- ② これに伴い、従来の賀寿祝い金（喜寿、米寿、白寿）は廃止。ただし賀寿を間近に控えた会員が不公平にならないよう移行措置を検討
*規約変更は年初を想定。移行措置として変更年に限り 77 歳、88 歳、99 歳に到達する会員には同様に全農グループの取扱い商品等贈呈する措置を想定
- ③ 生前生活への対応回数を優先・重点化させるため、弔事対応は簡素化する。弔事対応は会員本人への供花料のみ（ただし現行の半額 5 千円）とし、本人および配偶者への生花と配偶者への対応できない場合の供花料を廃止。

オ. 入会要件の見直し

退職者で希望する全員が入会できるよう、OB会入会資格は「総合職（全国・ブロック）、担当職（本所採用）」のいずれかを退職したものとし、20 年以上の勤務要件を廃止。

(2) 23 年度からの実施（23 年 4 月の総会付議）を目標に検討する事項

- ア. 本部総会は書面議決権行使による方式へ変更し、実出席者は原則として本部役員、支部長（リモート含む）とする。
- イ. 本部役員数は現行 14 名を減員の方向で見直す。東京支部役員との兼務について、合理的・効率的観点から検討する。（兼務継続の可否、本部・東京支部での役割分担の明確化など）
- ウ. 民間賃貸の独立事務所のあり方について、全農あるいはグループ会社との連携を検討する。
- エ. OB会の名称は、全農において機構名に「全国本部」が使用されていないことをふまえて変更することとし具体的名称を検討
- オ. 支部活動費の支出基準について、既存の活動を尊重しつつ会員数などの客観的な指標にもとづいた公平な配分ができるよう基準を設定（東京支部以外は現行水準を下回らないよう配慮）

以上

【第4号議案】

規約の改定について

OB会第2弾改革(案)に基づき、会員拡大に向けた取組および慶弔対応の適用見直しに関わる施策を実施するため、規約を以下のとおり改定する。

なお、会員への周知や移行措置等を考慮し、施行日は年初に設定する。

1. 改定内容：現行・改定(案)対比表の下線部のとおり

2. 施行日：2023年1月1日(2022年12月末日までは現行規約のとおり)

3. 主な改定理由等：

(1) 会員の範囲は実態に即した名称に改める。さらに勤務年数を撤廃することにより、会員の対象範囲を拡大する。

(2) 慶弔について、長寿祝の対象年齢・贈呈品金額を見直し、年齢の引き下げと贈呈回数を増やすことにより、会員への支援を拡大・充実させる。また、全農グループの取扱い商品を贈呈することで会員と全農グループとの結びつきを深める。

なお、移行措置として2023年に満77才、満88才、満99才を迎えるものも対象とする。

一方で弔事対応については、生花または花輪を廃止、簡素化し、会員死亡時においてのみ供花料5千円(半額に減額)を贈ることとする。

4. OB会規約 現行・改定(案)対比表

現 行	改 定 (案)
(目 的)	(目 的)
1. 省略	1. 省略
～	～
(会 員)	(会 員)
4. (1)この会の会員は次の範囲のもので、入会手続きをしたものとする。	4. (1)この会の会員は次の範囲のもので、入会手続きをしたものとする。
ア. 全購連・全販連・全農・全農全国本部のいずれかを定年退職または、20年以上勤務して退職したもの。	ア. 全購連・全販連・全農および統合後の全農【総合職(全国・ブロック)または担当職(本所採用)】のいずれかを退職したもの。
イ. 本部役員会において適当と認めたもの。	イ. 本部役員会において適当と認めたもの。
～	～
(事 業)	(事 業)
5. この会の目的を達成するため、次の事業を行う。	5. この会の目的を達成するため、次の事業を行う。
(1)懇話会・研究会等の開催	(1)懇話会・研究会等の開催
(2)会員データベース、OB会ホームページの管理および会員名簿の提供	(2)会員データベース、OB会ホームページの管理および会員名簿の提供
(3)OB会通信の発行	(3)OB会通信の発行
(4)会員の慶弔	(4)会員の慶弔

現 行	改 定 (案)
<p>ア. 長寿のお祝として、次の祝金を贈呈する。</p> <p>喜寿(満77才) 10,000円 米寿(満88才) 10,000円 白寿(満99才) 10,000円</p> <p>イ. 会員および配偶者が死亡したときは、生花または花環を贈る。</p> <p>ウ. 前項の対応ができない場合は、供花料(10,000円)を贈る。</p>	<p>ア. <u>長寿プレゼントとして、節目ごとに全農グループの取扱い商品等5,000円相当(消費税・送料等の費用込み)を贈呈する。</u></p> <p><u>対象者は1月1日現在を基準とし、その年に満70才、満75才、満80才、満85才を迎える会員</u></p> <p>イ. <u>会員が死亡したときは、供花料(5,000円)を贈る。</u></p>
<p>～</p> <p>(規約の改廃)</p> <p>16. この規約の改廃は総会の議決によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">付則</p> <p>1. この規約は、2021年4月13日から施行する。</p>	<p>～</p> <p>(規約の改廃)</p> <p>16. この規約の改廃は総会の議決によるものとする。</p> <p style="text-align: center;">付則</p> <p>1. この規約は、<u>2023年1月1日</u>から施行する。</p>

以 上

【第5号議案】

基金の一部取り崩しについて

全農全国本部OB会規約にもとづく本会の運営および活動を安定的に継続するために基金の一部を取り崩し、一般会計に繰り入れる。

記

1. 取り崩し金額 : 10,000,000 円
2. 取り崩し対象基金 : 2021年5月27日償還された基金10百万円(利付農林債い792号)を2021年度第2回役員会(2021年4月13日開催)決定により償還日にみずほ銀行普通預金へ振り替えて運用している。この基金10百万円を取り崩し一般会計に繰り入れる。
3. 取り崩し時期 : 2022年5月1日
4. 取り崩し理由 :
 - (1) 2014(平成26)年3月27日開催の第43回通常総会において、今後、収入財源(主に終身会費および受取利息)の減少等により、一般会計が毎年度350~380万円の赤字となることが想定されることから、財源不足を補い、一般会計予算の収支バランスをとるため、1千万円の基金を取り崩し、一般会計への繰り入れを決定し実施した。その後、2017(平成29)年度にも1千万円を取り崩し、今日まで2回20百万円の基金を取り崩し一般会計へ繰り入れた。
 - (2) 2022年度の一般会計予算は、次期繰越額がマイナスとなる見通しのため、基金の一部を取り崩し、一般会計へ繰り入れる。

以上

【第6号議案】

第51期(2022年度)事業計画について

規約に基づき、全農全国本部との連絡を密にしつつ、会員相互の親睦をはかるため、次の事業を行う。

- (1) OB会通信の発行(1月の年1回および3月総会議案書送付時に必要に応じ追補版の発行)
- (2) 会員のデータベース(入会、退会、住所等登録情報)、OB会ホームページの管理・改善(スマホでも見やすい画面の作成、暗号化通信への切り替え等)および会員名簿の提供
- (3) 会員の慶弔対応(2023年1月1日規約改定)
- (4) 支部活動の支援 等

第51期(2022年度)予算書 (2022年3月1日～2023年2月28日)

① 基金 (単位:円)

科目	区分	予算	前年度予算	備考
前期繰越額		140,000,000	140,000,000	農林債・国債・銀行預金
当期繰入		0	0	
(-) 当期取崩		10,000,000	0	銀行預金(農林債2021年5月27日償還基金)
次期繰越額		130,000,000	140,000,000	

② 一般会計 (単位:円)

科目	区分	予算	前年度予算	備考	
前期繰越額	(1)	1,982,932	4,570,816		
収入	終身会費	640,000	640,000	入会者32人想定	
	受取利息	35,000	339,882	農林債・銀行預金利子	
	広告料	520,000	600,000	OB会通信新年号掲載広告料	
	雑収入	5,500,000	5,500,000	全農助成金	
	基金取崩	10,000,000	0		
	当期収入計	(2)	16,695,000	7,079,882	
	収入合計	(3)=(1)+(2)	18,677,932	11,650,698	
支出	慶弔費	祝金	2,735,000	780,000	長寿祝いに関する規約改定(22、23年内に賀寿年齢を迎える者と23年に70/75/80/85歳が対象)
		供花料	465,000	500,000	
		小計	3,200,000	1,280,000	
	会議費	200,000	400,000	役員会・改革プロジェクト会合等の交通費等	
	支部活動費	1,500,000	1,500,000		
	事務費	5,680,000	2,600,000	ホームページ改善費360万円、印刷費(OB会通信、会議資料、全農50周年投稿集)、通信費他	
	事務局費	1,900,000	1,900,000	事務局員昼食・通勤費他	
	家賃・水道光熱費	2,509,600	2,600,000	事務所賃借料、水道・光熱費	
当期支出計	(4)	14,989,600	10,280,000		
次期繰越額	(3)-(4)	3,688,332	1,370,698		

(3) 差入保証金 (単位:円)

敷金	1,190,000	1,190,000	株式会社全農ビジネスサポート
----	-----------	-----------	----------------

資産合計(A)+(B)+(C)	134,878,332	142,560,698	
-----------------	-------------	-------------	--

【第7号議案】

任期満了に伴う役員選任について

役員候補者（幹事・監事50音順、敬称略）

幹事 榎 本 健 蔵（新任）

幹事 奥 野 和 雄（再任）

幹事 小 澤 和 子（再任）

幹事 高 橋 俊 和（再任）

幹事 田 村 啓 子（再任）

幹事 平 賀 亮（再任）

幹事 藤 本 玉 枝（再任）

幹事 堀 池 実（再任）

幹事 本 江 育 雄（再任）

幹事 宮 崎 光 男（再任）

幹事 百 瀬 祥 一（再任）

幹事 吉 永 正 信（再任）

監事 中 川 誠 治（新任）

監事 浜 田 隆 文（再任）

役員任期は、規約8項(3)により2024年通常総会
終了時までとする。

以上